総　務　常　任　委　員　会　記　録

令和７年10月17日（金）午後０時56分～午後１時32分（第１委員会室）

○出席委員（８名）

委 員 長	沢井　和宏
副委員長	石山　波恵
委　　員	三浦由美子
委　　員	後藤　善次
委　　員	鈴木　正実
委　　員	村山　国子
委　　員	宍戸　一照
委　　員	半沢　正典

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案　　件

１　所管事務調査について

２　その他

午後０時56分　　開　　議

（沢井和宏委員長）ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

所管事務調査についてを議題といたします。

前回、９月定例会議の委員会審査終了後に協議させていただきましたとおり、当委員会におきまして所管事務調査を実施してまいりたいと思います。そこで、本日は、正副委員長手元で調査テーマの案を作成いたしましたので、それを基に委員の皆様からご意見をお伺いし、調査テーマについての協議を行ってまいりたいと思います。

なお、協議については自由協議の形式により行いたいと思います。自由協議中は録音を止め、私からの発言許可も不要といたしますので、積極的なご発言をお願い申し上げます。

それでは、自由協議を開始したいと思います。録音を停止してください。

【この間自由協議】

（沢井和宏委員長）自由協議を終結いたします。録音を再開してください。

では、今皆様との協議の結果、正副委員長案である１番目の市民が安心して過ごせる避難所の環境整備に関する調査ということで進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に、議長に提出する調査申出書に記載する内容の案を用意いたしましたので、この案をご確認いただき、今回の所管事務調査の実施を正式に決定いたしたいと思います。

お手元の所管事務調査実施内容案をお開きください。１、調査事項としましては、市民が安心して過ごせる避難所の環境整備に関する調査ということで、調査目的は、近年、自然災害は頻発、激甚化の傾向にあり、避難所設置の蓋然性は高まり、求められるニーズも複雑多様化している。加えて、長期化した際の対応や感染症対策など避難所運営における課題は多岐にわたる。このことから、市民が安心して過ごせる避難所の環境整備に関する調査を行うことにより、多様化する市民ニーズへの対応と避難所の環境の向上に資することを目的とするということで、調査方法としましては当局説明、参考人招致、行政視察等の方法により行います。調査期間は、令和７年10月から調査終了までの期間ということで議長のほうに提出したいと思いますが、よろしいでしょうか。

（宍戸一照委員）この環境という言葉の意味、今回の調査目的として適切なのか。

（鈴木正実委員）環境整備といったときのこの環境の意味合い、それを整備といったらどういうようなことなのか、ちょっと判然としないのではないかな。

（沢井和宏委員長）環境って多分人的環境も含めてだから、環境のほうが。

（半沢正典委員）教育環境の整備から何とか、環境整備って普通に使うよ。

（村山国子委員）普通に使うよね、環境整備って。

（宍戸一照委員）いいのかな。

（鈴木正実委員）設置とかを含めての話になってくると、環境ではなく、まず設置の条件とかが出てきたりということではないかい。

（村山国子委員）いや、それが環境だよね。避難所の食事とか、トイレとか。

（半沢正典委員）設置も含めて環境でいいのではない。

（鈴木正実委員）その意味でいうと、環境整備というと避難所の中の環境というふうに取られませんかということで、言葉をもうちょっと幅広く使うのだったら。

（石山波恵委員）環境整備を入れないで、避難所に関する調査だといいのではないですか。環境整備を取ってしまって、避難所に関するというと、大まかな感じのイメージが。

（鈴木正実委員）限定的になってしまうのではないかという危惧があると思ったのです。

（沢井和宏委員長）もちろん環境も含めてなのですけれども。

（宍戸一照委員）安心して過ごせる避難所の整備という、環境を除いて、整備だけでも十分に。

（鈴木正実委員）それでもいいですよね。

（後藤善次委員）何か、でもハードっぽくなってしまうな。

（半沢正典委員）では、避難所全般に関するにしたらいい。

（石山波恵委員）避難所に関するでいいのではないですか。

（沢井和宏委員長）避難所に関する調査でよろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）調査事項としては、市民が安心して過ごせる避難所に関する調査ということに文言を訂正したいと思います。

目的については、目的の下から３行目も、避難所の環境整備に関するのところを避難所に関する調査を行うことによりというふうに訂正させていただきます。

（村山国子委員）その下も環境の向上って書いてある。

（鈴木正実委員）これはいいのではない。

（沢井和宏委員長）下の環境はいいかなとは思いますけれども。

（鈴木正実委員）そこはいいですね。

（沢井和宏委員長）そこの２か所を環境整備という言葉を抜いて。では、その２か所訂正ということでよろしいですか。

（半沢正典委員）どこ。もう一回。

（沢井和宏委員長）下から３行目の……

（半沢正典委員）３行目の環境整備でしょう。

（沢井和宏委員長）そこも避難所に関する調査ということで。

（後藤善次委員）その下の環境はいいのではないかと思います。

（半沢正典委員）下の環境は残すのでしょう、これ。

（沢井和宏委員長）上の環境整備だけ削れば、下は、ニーズへの対応と具体的な避難所の環境なので、そこは抜いてしまうとちょっと分からなくなるから、いいかなと。

（後藤善次委員）これ調査終了時の時期は、ほぼ今決まったのだよね。

（沢井和宏委員長）ただ、あんまり明言はしない。

（鈴木正実委員）何も自分で首絞めることないのではないかと思います。

（沢井和宏委員長）突発的に延びる可能性もあるので、一応目途としては来年６月議会という目途はありますが、一応終了時までということで。

（宍戸一照委員）来年、もしかすると災害が起きるかも分からないからね。そうすると、補足してまた調査しなくてはならない。

（沢井和宏委員長）では、そのように訂正させていただきますので、よろしくお願いします。

では、この議題のほか、何かご意見ございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）なお、環境整備を抜いた、修正した案については、委員会終了後、修正した案を差し替え版としてこのフォルダー内に新たに保存して、皆さんにお知らせしたいと思いますので、よろしくお願いします。

最後、その他となりますが、皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（沢井和宏委員長）なければ、以上で総務常任委員会を閉会いたします。

午後１時32分　　散　　会

総務常任委員長　　沢　井　　和　宏